

城の山古墳と柴橋の歴史探訪コース

 …渡る時注意
 …横断歩道あり
 …撮影スポット
距離: 約 5.4 km



④ 城の山古墳



キャラクター ゆっきー

城の山古墳の鞆(ゆき: 矢を入れる筒)の妖精です。よろしくね♪

② 柴橋庵

疎開中に會津ハーは養女キイ子を病気で亡くしますが、その深い悲しみを詠んだ「山鳩」21首は絶唱といわれています。その一首を刻んだ歌碑をキイ子没後70年の平成27年、ゆかりの柴橋庵に建立しました。



山鳩のとよもす宿の
静もりに 汝はも逝くか
眠るに

③ 柴橋川

江戸時代、このあたりには塩津湯という大きな湯がありました。その地形のなごりで、海側から山に向かって川が流れているスポットです。

ぜひ、橋から川を覗いてみてください!

⑤ 大山祇神社

関沢集落の山の神様を分社願ひ「十二天様」と合祀されていた「大山祇神社」。

農地の基盤整備に伴い、平成16年10月に現在地に祀りました。

④ 史跡 城の山古墳

今から1700年前の古墳時代前期の古墳です。「ひとかごやま」伝説により多くの市民に知られる遺跡です。

直径39mの楕円形の円墳で、高さは5mあります。前期古墳時代のものとしては、日本海側最北端に位置します。

ヒスイ製の勾玉、矢を入れる筒「鞆」、直径約10cmの中国製の「銅鏡(盤龍鏡)」、弓につける国内最古の両頭金具、鉄製の大刀など、大和政権と深い関係がうかがわれる数多くの副葬品が出土しました。



① 柴橋のほうとう様

公会堂の脇にお堂があり、その中にある三重の塔が「ほうとう様」です。

柴橋のほうとう様には、伝説があります。昔、柴橋には武力、財力ともすぐれた5人衆がおり、村を守っていました。

あるとき村を襲ってきた盗賊を5人衆が退治し、その盗賊らを吊うために建てた塔といわれています。

